

1. 日 時 平成25年9月17日(火) 15時19分開会
15時47分閉会
2. 場 所 第2委員会室
3. 出席委員 野畑直委員長, 松元薫久副委員長, 石澤委員, 竹原委員,
濱崎委員, 大田委員, 鳥飼委員, 中面委員
4. 事務局職員 議事係 寺地 英兼
5. 会議に付した事件

・所管調査事項

- (1) 交流人口増加対策について
- (2) 6次産業化の推進対策について
- (3) 鳥獣被害対策について
- (4) 道路・河川の危険個所の整備対策について
- (5) 子育て支援対策について

6. 議事の経過概要

別紙のとおり

審査の経過概要

野畑直委員長

ただいまから、所管事務調査事項について、今後の方針について協議を行いたいと思います。前回の審査の総括において出された課題をまとめますと、1. 交流人口増加対策については、九州管内で類似例があれば調査し、委員会にて報告をする。2. 六次産業化推進対策については、次の委員会までに委員のほうにまとめてもらい、今後の方針も含め各委員も調査をすること。3. 鳥獣被害対策については、収穫後、実施した田代地区との意見交換や尾崎、槇之浦西地区などの取り組みを見る。時期を見て猟友会との意見交換会をする。4. 道路河川の危険箇所の整備対策については、求めた資料が配布されてから、内容の検討、今後の方針を決めていく。5. 子育て支援対策については、施設老朽化、児童待機の問題などもあり、施設を見に行く必要があるのかも含めて次回の委員会までに意見を集約する。以上のような意見が出されたところです。この出された意見を踏まえ、交流人口増加対策について、6次産業化推進対策について、道路河川の危険箇所の整備対策について、子育て支援対策については、今後の具体的な活動を決めていく必要がありますので、今回の所管事務調査については、これらの調査事項についての今後の調査計画について協議したいと思いますが、このような進め方でよろしいでしょうか。

[「はい」と発言する者あり]

それでは、そのように進めさせていただきます。それでは、先ほど述べた4調査項目の今後の調査計画について決めていきたいと思います。ここで暫時休憩といたします。

(休憩 15:22 ~ 15:36)

野畑直委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。各委員から次回の調査について御意見を伺いたいと思います。

中面幸人委員

まず、交流人口をふやす一つの政策として、釣堀に取り組んだらどうかということをございますけども、今事務局のほうから3箇所ほどそういう施設をパンフレットをもらいましたので、当然初めての試みであるし、当然先進地とかそういう実際あるところを見に行ったほうが一番いいかなと思いますので、とりあえずは釣堀をまず3箇所行くのか、1箇所にするのか、みんなで決めていただいて、現地調査というふうな形でこの釣堀についてはいただきたいと思います。そして、後は時期的なものもですね、委員長とか事務局のほうである程度いろいろな行事等も含めながらですね、時期的なやつはそちらのほうで決めていただくと、一任という形で私はいいいと思います。

野畑直委員長

ほかに意見はありませんか。

竹原恵美委員

民間が入っているんですけれども、民間の場合、その場所は見れても、この例えば、これから始めるところが阿久根、これからしようかとしているところが財政の状況とか、年間の利用度だとかそういうところまで勉強していることだと思うと、民間ではそこまで引き出せないのではないかと。そこまで御協力いただけたら行く価値があるのではないかと思います。それで、ただ場所を見るしかできない箇所は行かなくてもよい。利用度、運営状況、財政状況まで見れるところに行きたいと思います。

野畑直委員長

ほかに、釣堀についての。

濱崎國治委員

私これ見てですね、何かこの釣堀は天草市釣堀レジャーランド分ですかね、何かこういうのがあまり費用もかけずにできそうな気もするものですから、民間であっても見てもいいのかなという気がいたします。それから同じようにですね、御立岬、湯ノ児のこれについても距離的にはそうないので、どちらか一方を見るのか、二つとも見るのかですね、二つともいろいろと特徴があるような気がしますので、近場ですので何か3箇所とも今の資料ではですね、もっとほかに九州管内にさっき竹原委員が言ったように、もっと釣堀の、天草市釣堀レジャーランドみたいなそういう形式のがですね、ほかにあるとすれば別ですけど、今の情報ではこれぐらいしかないとすればここをですね、見さしていただいてもいいのかなという気がいたします。

野畑直委員長

今、二人の委員から天草、湯ノ児、御立岬については近場であり、3箇所ともそれぞれ特徴があるので3箇所とも調査をしたらどうかと。そのほかに九州管内でもうちょっと別なよく運営状況がわかるところを調査して見るべきだという意見があります。この釣堀に対する所管事務調査について現地を見に行くとなったときに、年内は無理かもしれませんが、もうちょっと時間がありますのでもう少し調査をして決定をしようと思います。それに御異議ありませんかね。

[「なし」と発言する者あり]

[「ありません」と発言する者あり]

それでは、もう少しその件については調査をしていきたいと思います。

次に6次産業化の問題についてはどのようにとりはからいましょうか。意見を申し述べてください。

大田重男委員

これも資料をですね、見させてもらったんですけど非常に多すぎるんですよ、先週見たらちょっと多すぎるんです。だからそこで自分が考えたのは、あの中で集落営農でやっていて一番感じたのが、年間2億とか1億以上の売り上げをしているところがあったんですよね。あれはやっぱり九州県内だったんですけど、ああいうところをもう一度自分でも検査してみようかと自分では思っています。いろんな、例えば九州の生産物は中国とかあっちの富裕層には非常に人気があるということで、輸出もやっているところもあったんです

よね、あれで非常に儲かっているようなところもあったんですけど、今ぱつと場所を言われてもですね、ちょっと返答しかねます。

野畑直委員長

この6次産業化の推進対策についてはですね、なかなか難しいということと今回提案はしましたけども、今回は調査だけにとどめたらどうかというような考えがあると思いますけど。

[濱崎國治委員「情報収集と調査をするということはどうですか。もっと情報収集して。」と発言]

今、濱崎委員のほうから情状収集に努めるという意見がありました。ほかにありませんか。

石澤正彰委員

濱崎委員が言われた、全くそのとおりだと思うんですが。情報収集の中にですね、自然の海釣り公園と、

[複数人発言する者あり]

それをぜひ入れていただきたいなという要望でした。

野畑直委員長

石澤委員の意見はですね、またこれから6次産業化あるいは釣堀のほうでもまた調査したいと思いますので、そのうちに意見を述べていただきたいと思います。それでは、6次産業化についてはもう少し調査し、情報を収集して今回はその情報収集あるいは調査程度にとどめるというような感じで、これで終わるわけではなく、そっちを一所懸命勉強して、また来年度に活かして現地等に調査に行くという考えを進めていきたいと思います。

竹原恵美委員

例えば、その情報収集を個人が続けるんですけども、それを共有する時々には随分たまっていくんですけども、共有する時間というのをもちましよう。

野畑直委員長

竹原委員から個別にということですが、もちろん個人やってもいいですけども、委員会として持ち上げたものでありますので委員会として調査、情報収集、もちろん情報は共有して委員会としての取りまとめをしていきたいと思ひます。よろしいですか。

[複数人発言する者あり]

休憩に入ります。

(休憩 15:45 ~ 15:46)

野畑直委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。3番目の道路河川の危険個所の整備対策については、執行部のほうにお願いをしておりましたけども、25日に資料等の提出があるということで、この件についてはその資料が提出されてから審議したいと思ひます。

[「はい」と発言する者あり]

次に子育て支援対策については、前回も話したとおり午後3時以降の現地

調査はできるということでありましたので、次回の委員会の際に午後から行うなりして子育て支援対策についての調査をしたいと思いますが、それに御異議ありませんか。

〔「なし」と発言する者あり〕

それでは次回は調査内容を行うこととし、具体的な開催日時については委員長に一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「なし」と発言する者あり〕

それではそのように決しました。日程等が決まりましたら御連絡いたしますので、よろしく願いいたします。委員の方からほかにありませんか。

〔「なし」と発言する者あり〕

なければ、以上で本日の産業厚生委員会を散会いたします。

(散会 15 : 47)

産業厚生委員会委員長